

# Canon Driver Configuration Tool

## ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



# 本書の構成について

**第 1 章** ご使用の前に

**第 2 章** カスタマイズドライバーセット を作成する

**第 3 章** カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする

**第 4 章** カスタマイズドライバーをネットワークプリンター用にインストールする

**第 5 章** 付録

索引を記載しています。

- 
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
  - 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
  - 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 目次

---

|                     |    |
|---------------------|----|
| はじめに .....          | iv |
| 本書の読みかた .....       | iv |
| マークについて .....       | iv |
| キー・ボタンの表記について ..... | iv |
| 画面について .....        | v  |
| 略称について .....        | vi |
| 商標について .....        | vi |

## 第 1 章   ご使用の前に

---

|   |      |
|---|------|
| Canon Driver Configuration Tool の概要 .....         | 1-2  |
| カスタマイズできる項目 .....                                 | 1-2  |
| 対応ドライバー .....                                     | 1-3  |
| 必要な動作環境 .....                                     | 1-4  |
| Canon Driver Configuration Tool をインストールする .....   | 1-6  |
| オンラインヘルプを表示する .....                               | 1-9  |
| メイン画面から参照する .....                                 | 1-9  |
| メイン画面以外の画面から参照する .....                            | 1-10 |
| Canon Driver Configuration Tool をアンインストールする ..... | 1-11 |

## 第 2 章   カスタマイズドライバーセットを作成する

---

|                            |      |
|----------------------------|------|
| カスタマイズドライバーセットについて .....   | 2-2  |
| カスタマイズの準備を行う .....         | 2-3  |
| ドライバーの設定をカスタマイズする .....    | 2-5  |
| 対象機種を選択する .....            | 2-5  |
| スタンプを設定する .....            | 2-6  |
| 初期値を設定する .....             | 2-8  |
| 初期値をカスタマイズできる項目について .....  | 2-8  |
| 初期値をカスタマイズする .....         | 2-10 |
| お気に入りを設定する .....           | 2-13 |
| 項目／選択肢／ボタンの表示状態を設定する ..... | 2-15 |
| 設定内容を確定する .....            | 2-17 |
| カスタマイズドライバーセットを作成する .....  | 2-18 |
| ドライバーの再カスタマイズを行う .....     | 2-20 |

---

## 第 3 章 カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする

---

|  |            |
|--|------------|
| <b>インストールの準備をする</b> .....                | <b>3-2</b> |
| 共存できないドライバーを削除する .....                   | 3-3        |
| 同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させる場合 .....           | 3-3        |
| 同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合 .....          | 3-4        |
| <b>カスタマイズドライバーをインストールする</b> .....        | <b>3-6</b> |
| Setup 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする..... | 3-6        |
| INF 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする .....  | 3-8        |
| キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールする .....  | 3-8        |
| Windows のプリンター追加機能を使ってインストールする .....     | 3-10       |

## 第 4 章 カスタマイズドライバーをネットワークプリンター用にインストールする

---

|   |            |
|---|------------|
| <b>インストールの準備をする</b> .....                 | <b>4-2</b> |
| 共存できないドライバーを削除する .....                    | 4-2        |
| プリントサーバー .....                            | 4-2        |
| クライアントコンピューター .....                       | 4-3        |
| <b>カスタマイズドライバーをインストールする</b> .....         | <b>4-4</b> |
| プリントサーバーにインストールする .....                   | 4-4        |
| キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールする場合 ..... | 4-4        |
| Windows のプリンターの追加機能を使ってインストールする場合 .....   | 4-6        |
| クライアントコンピューターにインストールする .....              | 4-7        |

## 第 5 章 付録

---

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| <b>トラブルシューティング</b> ..... | <b>5-2</b> |
| <b>索引</b> .....          | <b>5-5</b> |

# はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

## 本書の読みかた

### マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

-  **重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
-  **メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

### キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

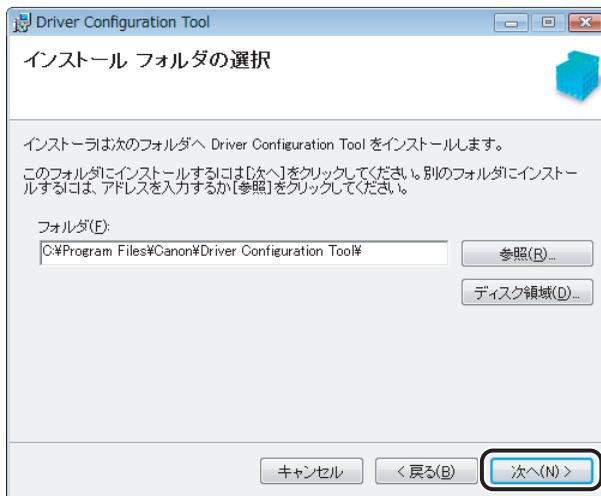
- コンピューター画面上のボタン：[ボタン名称]  
例：[OK]  
[削除]
- コンピューター画面上のアイコン：<キーアイコン> + (キー名称)  
例： (上へ)

## 画面について

本書で使われているコンピューター操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時に押すキーの場所は、 (丸) で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

### 8 インストール先のフォルダーを指定して、[次へ] をクリックします。



操作時にクリックするボタン

## 略称について

本書に記載されている名称は、以下の略称を使用しています。

|   |                        |
|---|------------------------|
| Microsoft Windows Server 2003 operating system :    | Windows Server 2003    |
| Microsoft Windows Server 2003 R2 operating system : | Windows Server 2003 R2 |
| Microsoft Windows Vista operating system :          | Windows Vista          |
| Microsoft Windows Server 2008 operating system :    | Windows Server 2008    |
| Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system : | Windows Server 2008 R2 |
| Microsoft Windows 7 operating system :              | Windows 7              |
| Microsoft Windows 8 operating system :              | Windows 8              |
| Microsoft Windows 8.1 operating system :            | Windows 8.1            |
| Microsoft Windows Server 2012 operating system :    | Windows Server 2012    |
| Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system : | Windows Server 2012 R2 |
| Microsoft Windows 10 operating system :             | Windows 10             |
| Microsoft Windows operating system :                | Windows                |
| PostScript 3 :                                      | PS                     |
| Novell NetWare :                                    | NetWare                |

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

# 1

## CHAPTER

# ご使用の前に

Canon Driver Configuration Toolの特長、システム環境、インストール方法など、Canon Driver Configuration Toolを使用する前に必要な事柄について説明しています。

---

|  |      |
|--|------|
| Canon Driver Configuration Tool の概要.....         | 1-2  |
| カスタマイズできる項目.....                                 | 1-2  |
| 対応ドライバー.....                                     | 1-3  |
| 必要な動作環境.....                                     | 1-4  |
| Canon Driver Configuration Tool をインストールする.....   | 1-6  |
| オンラインヘルプを表示する.....                               | 1-9  |
| メイン画面から参照する.....                                 | 1-9  |
| メイン画面以外の画面から参照する.....                            | 1-10 |
| Canon Driver Configuration Tool をアンインストールする..... | 1-11 |

# Canon Driver Configuration Tool の概要

1

ご使用の前に

Canon Driver Configuration Tool は、キヤノン製プリンタードライバーの初期値（標準の設定値）を変更して、カスタマイズされたドライバーセットを作成するユーティリティソフトウェアです。

例えば、用紙の使用量を抑えたい場合、システム管理者は [ページレイアウト] の初期値を [2 in 1]、[印刷方法] の初期値を [両面] に設定したドライバーセットを作成します。ユーザーがこのドライバーセットをインストールすると、ユーザー側で個別に設定を変更することなく、1 枚の用紙に 4 ページ分印刷される設定で出力することができます。

なお、本ユーティリティは、元とするドライバーをコンピューターにインストールせずに、カスタマイズドライバーを作成することができます。また、通常のドライバーと同じ画面を使って、ドライバーをカスタマイズすることができます。

 **メモ** 「ドライバーセット」とは、ドライバーのインストール用ファイル一式のことです。

## カスタマイズできる項目

本ユーティリティでカスタマイズできる項目は以下のとおりです。

### ■ 印刷設定（プリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックス）

以下のタブに含まれる各項目の初期値をカスタマイズすることができます。

- [基本設定] タブ
- [ページ設定] タブ
- [仕上げ] タブ
- [給紙] タブ
- [印刷品質] タブ

 **メモ** • 一部の項目はカスタマイズすることができません。（→初期値を設定する：P.2-8）  
• 初期値がカスタマイズされたドライバーで、上記のタブの [標準に戻す] をクリックすると、カスタマイズされた初期値が各項目に設定されます。  
• [基本設定] タブは、ドライバーの設定項目のうち、他のタブの基本的な設定をまとめたタブです。[基本設定] タブでのカスタマイズと、他のタブでのカスタマイズは連動しており、いずれか一方でのカスタマイズが自動的にもう一方に反映されます。

### ■ デバイスの設定（プリンタードライバーの [デバイスの設定] タブ）

[デバイスの設定] タブに含まれる各項目の初期値をカスタマイズすることができます。

 **メモ** • 一部の項目はカスタマイズすることができません。（→初期値を設定する：P.2-8）  
• Canon CAPT Printer Driver は、[デバイスの設定] タブをカスタマイズすることはできません。

## ■ お気に入り

お気に入りの追加、削除、表示順序の変更を行うことができます。また、お気に入りの設定内容をカスタマイズすることができます。

- **メモ** 標準で用意されているお気に入りをカスタマイズすることもできます。
- 標準で用意されているお気に入りは、アイコンの左上の赤い丸で示してあります。

## ■ スタンプ

スタンプの追加、削除を行うことができます。また、スタンプの設定内容をカスタマイズすることができます。

- **メモ** 標準で用意されているスタンプをカスタマイズすることもできます。
- 標準で用意されているスタンプは、アイコンの左上の赤い丸で示してあります。

## ■ 項目/選択肢/ボタンの表示状態

各項目 / 選択肢 / ボタンの表示状態を、有効 / 無効 / 非表示のいずれかに設定することができます。無効に設定された項目はグレーアウトされ、ユーザーが設定を変更できないようになります。また、非表示に設定すると、項目そのものが表示されなくなります。ボタンやドロップダウンリストボックスの選択肢も、同じように設定することができます。

- **メモ** Canon CAPT Printer Driver は、項目 / 選択肢 / ボタンの表示状態をカスタマイズすることはできません。

## 対応ドライバー

Canon Driver Configuration Tool でカスタマイズできるドライバーは、以下の Windows 用プリンタードライバーです。

- **重要** 本ユーティリティには 32 ビット版と 64 ビット版の 2 種類があります。32 ビット版では 32 ビット版のドライバーを、64 ビット版では 64 ビット版のドライバーをカスタマイズできます。また、32 ビット版のドライバーと 64 ビット版のドライバーが同じフォルダー内にあれば、同時にカスタマイズできます。

- **メモ** 本ユーティリティに対応しているドライバーであれば、下記以外のドライバーでもカスタマイズすることができます。本ユーティリティに対応しているかどうかは、ドライバーの Readme ファイルを参照してください。

## ■ 32 ビット版

- Canon LIPS4 Printer Driver Version 10.70 以降
- Canon LIPSLX Printer Driver Version 1.30 以降
- Canon CARPS2 Printer Driver Version 1.30 以降
- Canon PS 3 Printer Driver Version 2.60 以降
- Canon CAPT Printer Driver\*
- Canon GLX Printer Driver Version 1.00 以降
- Canon Universal LIPS4 Printer Driver Version 1.00 以降

\* お使いの Canon CAPT Printer Driver が本ユーティリティに対応しているかどうかは、ドライバーの Readme ファイルを参照してください。

## ■ 64 ビット版

- Canon LIPS4 Printer Driver Version 12.00 以降
- Canon LIPSLX Printer Driver Version 2.00 以降
- Canon CARPS2 Printer Driver Version 2.00 以降
- Canon PS 3 Printer Driver Version 4.00 以降
- Canon CAPT Printer Driver\*
- Canon GLX Printer Driver Version 1.10 以降
- Canon Universal LIPS4 Printer Driver Version 1.00 以降

\* お使いの Canon CAPT Printer Driver が本ユーティリティーに対応しているかどうかは、ドライバーの Readme ファイルを参照してください。

## 必要な動作環境

Canon Driver Configuration Tool は、以下のシステム環境での動作を保証しています。

- 重要** ● ドライバーがサポートする OS 上でのカスタマイズのみ動作を保証しています。
- カスタマイズ元のドライバーでサポート外となっているシステム環境は、本ユーティリティーで対応しているシステム環境であっても、カスタマイズ後のドライバーのサポート外となります。

## ■ 32 ビット版

- OS
  - ・ Windows Vista
  - ・ Windows 7
  - ・ Windows 8
  - ・ Windows 8.1
  - ・ Windows 10
  - ・ Windows Server 2003
  - ・ Windows Server 2003 R2
  - ・ Windows Server 2008
- コンピューター
  - 上記 OS が動作するコンピューター
- メモリー
  - 上記 OS が動作するために必要なメモリー

## ■ 64 ビット版

- OS
  - ・ Windows Vista
  - ・ Windows 7
  - ・ Windows 8
  - ・ Windows 8.1
  - ・ Windows 10
  - ・ Windows Server 2003
  - ・ Windows Server 2003 R2
  - ・ Windows Server 2008
  - ・ Windows Server 2008 R2
  - ・ Windows Server 2012
  - ・ Windows Server 2012 R2
- コンピューター  
上記 OS が動作するコンピューター
- メモリー  
上記 OS が動作するために必要なメモリー

# Canon Driver Configuration Tool をインストールする

1

ご使用の前に

以下の手順に従って、Canon Driver Configuration Tool をコンピューターにインストールします。

 **メモ** ここでは、Windows Vista/7（32ビット版）の場合を例に説明しています。項目名はお使いの OS によって異なることがあります。

**1** 本ユーティリティーを動作させるコンピューターに、Administrators のメンバーとしてログオンします。

**2** 他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了します。

**3** 以前のバージョンがインストールされている場合は、以前のバージョンをアンインストールします。

アンインストール手順は、「Canon Driver Configuration Tool をアンインストールする」(→P.1-11) を参照してください。

**4** 32ビット版の OS をお使いの場合は本ユーティリティーの 32ビット版のインストーラーを、64ビット版の OS をお使いの場合は本ユーティリティーの 64ビット版のインストーラーを用意します。

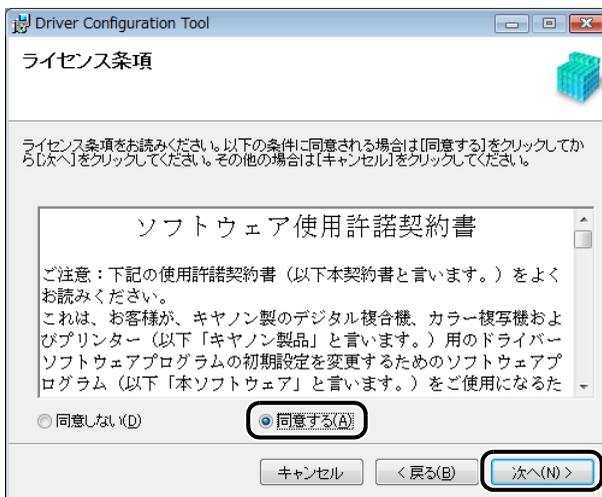
**5** [setup] または [setup.exe] をダブルクリックします。

インストールプログラムが起動します。

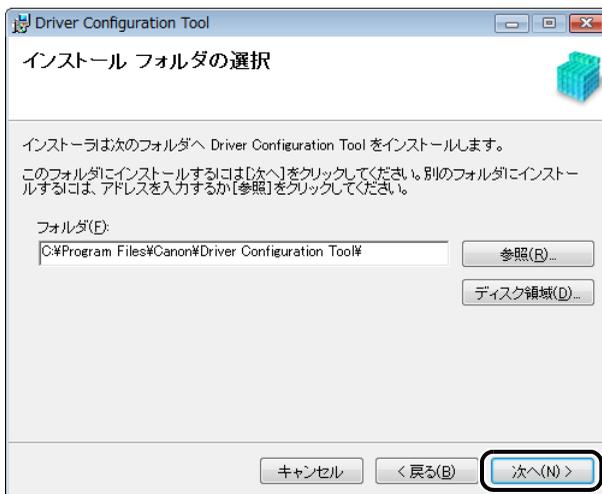
 **重要** [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[続行] をクリックします。

**6** [Driver Configuration Tool セットアップウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[次へ] をクリックします。

- 7 ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意する] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

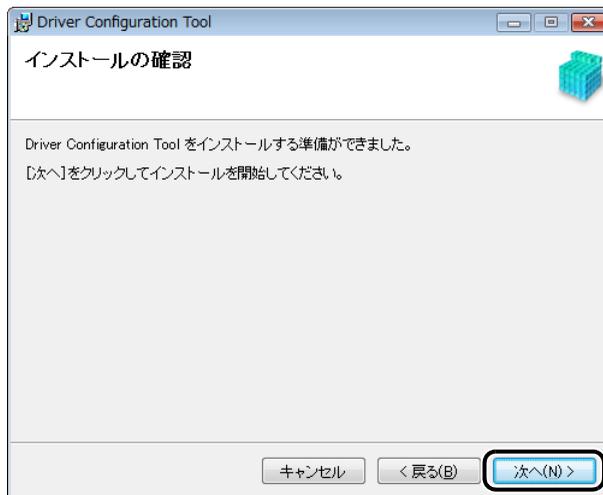


- 8 インストール先のフォルダーを指定して、[次へ] をクリックします。



表示されているフォルダー以外の場所にインストールする場合は、[参照] をクリックして、インストール先のフォルダーを指定します。

**9** [インストールの確認] 画面で、[次へ] をクリックします。



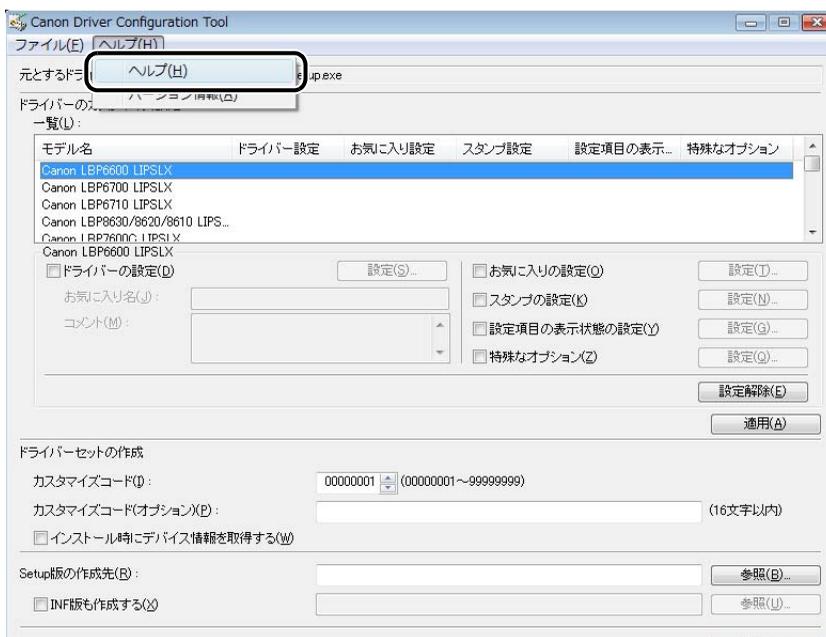
**10** インストール完了の画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。

# オンラインヘルプを表示する

本ユーティリティの各項目の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。  
オンラインヘルプは、以下の手順で表示できます。

## メイン画面から参照する

### 1 [ヘルプ] メニューから [ヘルプ] を選択します。



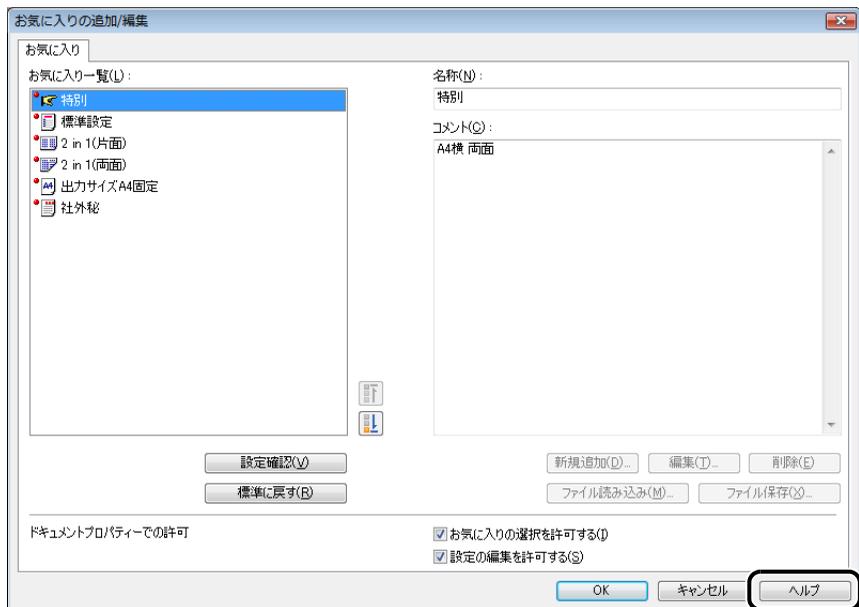
ヘルプが表示されます。

1

ご使用の前に

## メイン画面以外の画面から参照する

### 1 [ヘルプ] をクリックします。



ヘルプが表示されます。

# Canon Driver Configuration Tool をアンインストールする

Canon Driver Configuration Tool が不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

 **メモ** ここでは、Windows Vista/7（32ビット版）の場合を例に説明しています。項目名はお使いの OS によって異なることがあります。

- 1** Administrators のメンバーとして Windows にログオンします。
- 2** [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択します。
- 3** [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 4** ソフトウェアの一覧から [Driver Configuration Tool] を選択したあと、[アンインストール] をクリックします。
- 5** [はい] をクリックします。

Canon Driver Configuration Tool がアンインストールされます。

 **重要** [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[続行] をクリックします。

# 1

ご使用の前に

# カスタマイズドライバーセット を作成する

# 2

## CHAPTER

この章では、Canon Driver Configuration Tool を使ってカスタマイズドライバーセットを作成する方法を説明しています。

---

|                           |      |
|---------------------------|------|
| カスタマイズドライバーセットについて.....   | 2-2  |
| カスタマイズの準備を行う.....         | 2-3  |
| ドライバーの設定をカスタマイズする.....    | 2-5  |
| 対象機種を選択する.....            | 2-5  |
| スタンプを設定する.....            | 2-6  |
| 初期値を設定する.....             | 2-8  |
| お気に入りを設定する.....           | 2-13 |
| 項目/選択肢/ボタンの表示状態を設定する..... | 2-15 |
| 設定内容を確定する.....            | 2-17 |
| カスタマイズドライバーセットを作成する.....  | 2-18 |
| ドライバーの再カスタマイズを行う.....     | 2-20 |

# カスタマイズドライバーセットについて

本ユーティリティで作成できるカスタマイズドライバーセットの形式は以下のとおりです。

## ■ Setup 版のドライバーセットを元にした場合

Setup 版のカスタマイズドライバーセットを作成できます。INF 版のカスタマイズドライバーセットも併せて作成できます。

- 重要**
- カスタマイズしたドライバーを 64bit 版 Windows 8 以降にインストールする場合は、Setup 版のドライバーを使用する必要があります。
  - お使いのドライバーセットのバージョンによっては、Setup 版に対応していない場合があります。
  - カスタマイズしたドライバーをインストールしたあと、USB のプラグアンドプレイでインストールを行うと、カスタマイズしたドライバーではなく、標準のドライバーがインストールされます。
  - 64ビット版サーバーOS に 32ビット版 OS 用の代替プリンタードライバーをインストールする場合の注意事項については、「トラブルシューティング」(→ P.5-2) を参照してください。
  - Canon Universal LIPS4 Printer Driver の INF 版のカスタマイズドライバーセットは、作成できません。

## ■ INF 版のドライバーセットを元にした場合

INF 版のカスタマイズドライバーセットが作成されます。

# カスタマイズの準備を行う

カスタマイズドライバーセットを作成する前に、カスタマイズの準備を行う必要があります。

-  **メモ**
- 「ドライバーセット」とは、ドライバーのインストール用ファイル一式のことです。
  - ここでは、Windows Vista/7（32ビット版）上で本ユーティリティを使用する場合の手順を説明しています。項目名はお使いのOSによって異なることがあります。

**1** 本ユーティリティを動作させるコンピューターに、Administratorsのメンバーとしてログオンします。

**2** 本ユーティリティでカスタマイズしたドライバーのインストール方法を決定し、カスタマイズの元にするドライバーセットを用意します。

ドライバーセットは、プリンターに付属のCD-ROMに収録されています。キヤノンのWebサイトからダウンロードすることもできます。

-  **重要**
- カスタマイズドライバーのインストール方法と、カスタマイズの元にするドライバーセットの組み合わせが正しくない場合、カスタマイズドライバーを正常にインストールできないことがあります。
  - 本ユーティリティには32ビット版と64ビット版の2種類があります。32ビット版では32ビット版のドライバーを、64ビット版では64ビット版のドライバーをカスタマイズできます。また、32ビット版のドライバーと64ビット版のドライバーが同じフォルダー内にあれば、同時にカスタマイズできます。

**3** 手順2で用意したドライバーセットをCanon Driver Configuration Toolを実行するコンピューターからアクセス可能な場所にコピーします。

手順2で用意したドライバーセットが圧縮されている場合は、ファイルを解凍します。

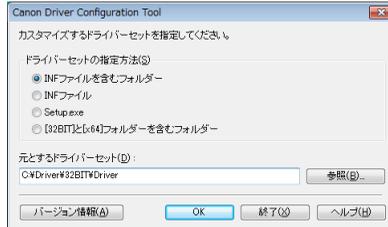
**4** [スタート]メニューから[すべてのプログラム] - [Canon Driver Configuration Tool] - [Driver Configuration Tool]を選択します。

Canon Driver Configuration Toolが起動します。

## 5 [ドライバーセットの指定方法] を選択し、[元とするドライバーセット] に手順 2 で用意したドライバーセットへのフルパスを入力します。

フォルダーをテキストボックスにドラッグアンドドロップすると、フルパスが [元とするドライバーセット] に入力されます。

フルパスは、[参照] をクリックして入力することもできます。



| [ドライバーセットの指定方法]                   |   |
|-----------------------------------|---|
| [INF ファイルを含むフォルダー] :              | ドライバーセットに INF ファイルが 1 つだけ含まれている場合は、この項目を選択します。                      |
| [INF ファイル] :                      | ドライバーセットに INF ファイルが 2 つ以上含まれている場合は、この項目を選択し、目的の INF ファイルを指定します。     |
| [Setup.exe] :                     | ドライバーセットに含まれるインストーラーを使用する場合は、この項目を選択します。                            |
| [[32BIT] と [x64] フォルダーを含むフォルダー] : | ドライバーセットに含まれる 32 ビット版と 64 ビット版のインストーラーに、同様のカスタマイズをする場合は、この項目を選択します。 |

 **メモ** このダイアログボックスは、メイン画面の [ファイル] メニューで、[開く] を選択して開くこともできます。

## 6 [OK] をクリックします。

メイン画面が表示されます。

# ドライバーの設定をカスタマイズする

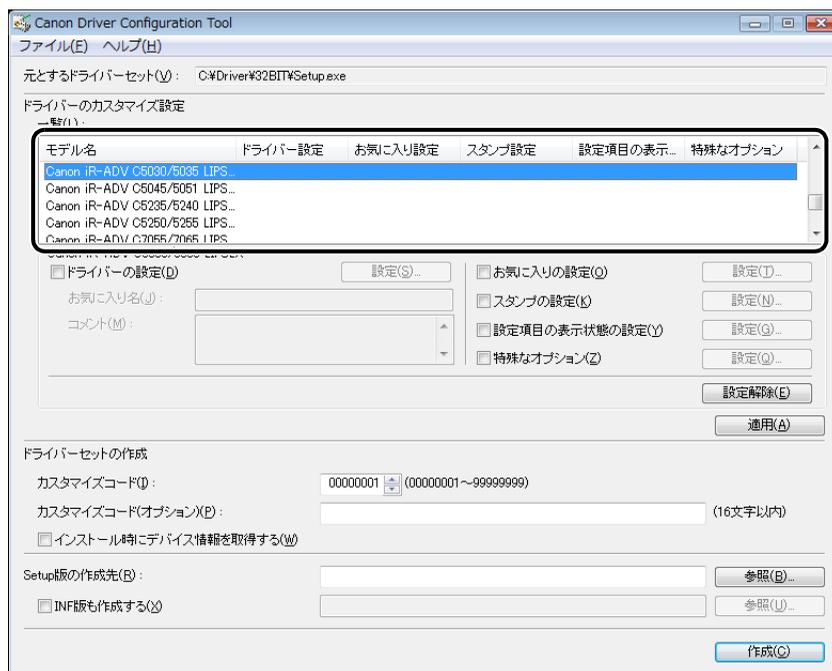
カスタマイズの準備ができたなら、ドライバーの設定をカスタマイズします。

- 重要** • 複数機種のカスタマイズを行う場合は、「対象機種を選択する」(→ P.2-5) から「設定内容を確定する」(→ P.2-17) までで説明されている手順を、機種数分繰り返します。
- カスタマイズの途中で元とするドライバーセットを変更すると、それまでに設定された内容は失われます。また、カスタマイズの途中で本ユーティリティを終了すると、それまでに設定された内容は失われます。

## 対象機種を選択する

### 1 一覧からカスタマイズ対象のモデル名を選択します。

複数のモデル名を一度に選択して、まとめて設定することはできません。



カスタマイズされたドライバーセットの場合は、カスタマイズしたモデルのみ一覧に表示されます。また、設定済みの項目は「On」と表示されます。

続いてスタンプの設定を行います。

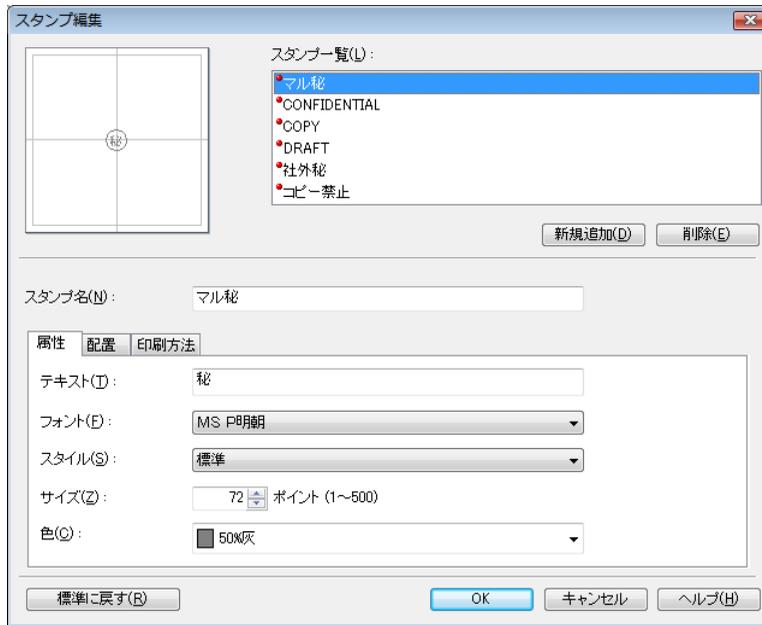
## スタンプを設定する

以下の手順に従って、スタンプの設定をカスタマイズします。スタンプをカスタマイズしない場合は、「初期値を設定する」(→ P.2-8)に進んでください。

- 重要** ● デフォルトのスタンプを変更したいときは、[ページ設定] タブの [スタンプ] で、デフォルトにしたいスタンプを選択してください。
- スタンプを編集/削除した場合は、[ページ設定] タブで、デフォルトのスタンプを、存在するスタンプの中から選択しなおしてください。デフォルトのスタンプを選択しなおさずにドライバーセットを作成すると、デフォルトのスタンプや設定内容が意図したものと異なることがあります。

### 1 Canon Driver Configuration Tool のメイン画面で [スタンプの設定] にチェックマークを付けたあと、[設定] をクリックします。

[スタンプ編集] ダイアログボックスが表示されます。



- メモ** [スタンプ編集] ダイアログボックスの [標準に戻す] は、本ユーティリティーでカスタマイズを行うときにのみ表示されます。

## 2 スタンプの設定を行います。

### ● 新しいスタンプを作成する場合

- [スタンプ一覧] から元とするスタンプを選択したあと、[新規追加] をクリックします。

元とするスタンプの設定値の状態、新規のスタンプを設定する画面が表示されます。

- 必要に応じて、設定値を変更します。

### ● スタンプを削除する場合

- [スタンプ一覧] から削除するスタンプを選択したあと、[削除] をクリックします。

選択したスタンプが一覧から削除されます。

#### 重要

- [標準に戻す] をクリックすると、編集中のスタンプだけでなく、[スタンプ一覧] に表示されているすべてのスタンプが標準の設定値に戻ります。また、スタンプの追加や削除によって [スタンプ一覧] のスタンプの表示順が変更されていた場合は、表示順も標準の状態に戻ります。
- スタンプは少なくとも一つ定義されている必要があります。最後の1つを削除することはできません。最後に残ったスタンプが不要で、別のスタンプを新たに作成したいときは、先に必要なスタンプを追加すると、残っていた不要なスタンプを削除することができます。

#### メモ

- 設定方法は、通常のドライバーでスタンプを設定する場合と同様です。
- 標準で用意されているスタンプをカスタマイズすることもできます。
- ここで追加または編集したスタンプは、標準で用意されているスタンプ（名称の左上に赤い丸がついたスタンプ）として表示されます。
- 各項目の詳細については、[スタンプ編集] ダイアログボックスのヘルプを参照してください。（→オンラインヘルプを表示する：P.1-9）

## 3 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

メイン画面に戻ります。

---

続いて初期値の設定を行います。

---

## 初期値を設定する

初期値をカスタマイズしない場合は、「お気に入りを設定する」(→P.2-13)に進んでください。

### 初期値をカスタマイズできる項目について

#### ■ 初期値をカスタマイズできる項目

以下のタブに含まれる各項目の初期値をカスタマイズすることができます。

- プリンタードライバーの [印刷設定] ダイアログボックスに含まれる各タブ
  - ・ [基本設定] タブ
  - ・ [ページ設定] タブ
  - ・ [仕上げ] タブ
  - ・ [給紙] タブ
  - ・ [印刷品質] タブ
- プリンタードライバーの [デバイスの設定] タブ

-  **メモ** ● Canon CAPT Printer Driver の [デバイスの設定] タブをカスタマイズすることはできません。
- [基本設定] タブは、ドライバーの設定項目のうち、他のタブの基本的な設定をまとめたタブです。[基本設定] タブでのカスタマイズと、他のタブでのカスタマイズは連動しており、いずれか一方でのカスタマイズが自動的にもう一方に反映されます。

#### ■ 初期値をカスタマイズできない項目

以下の項目の初期値はカスタマイズすることができません。(以下の項目があるかどうかは、ドライバーによって異なります。)

|            |   |
|------------|---|
| [ページ設定] タブ |  ( [ページ設定] / [仕上げ] タブ共通プレビュー ) /  ( [給紙] タブ用プレビュー ) で切り替えるプレビューの初期値   |
|            | [ページオプション] ダイアログボックスの [オーバーレイ] タブで、[オーバーレイ印字を行う] を選択したときの初期値 ( [デバイス側のフォーム] を初期値に設定することができません。)   |
|            | [ページオプション] ダイアログボックスの [オーバーレイ] タブで、[オーバーレイ印字を行う] を選択して、[ホスト側のフォームファイルを使用] を指定したときの、フォームファイル ( [ファイル名] に初期値を設定することはできますが、フォームファイルそのものをドライバーセットに含めることはできません。)* <sup>1</sup>   |
| [仕上げ] タブ   |  ( [ページ設定] / [仕上げ] タブ共通プレビュー ) /  ( [給紙] タブ用プレビュー ) で切り替えるプレビューの初期値 |
| [給紙] タブ    |  ( [ページ設定] / [仕上げ] タブ共通プレビュー ) /  ( [給紙] タブ用プレビュー ) で切り替えるプレビューの初期値 |

\*1 [ページオプション] ダイアログボックスで [オーバーレイ印字を行う] を選択して、[ホスト側のフォームファイル] を指定した場合、[ファイル名] に初期値を設定したドライバーセットをインストールするときは、別途、[ファイル名] で指定した場所にフォームファイルをコピーする必要があります。

## ■ 初期値のカスタマイズ作業中に操作できない項目

プリンタードライバーの以下の項目／選択肢／ボタンは、初期値のカスタマイズ作業中の設定画面では操作することができません。(以下の項目があるかどうかは、ドライバーによって異なります。)

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 【印刷設定】<br>ダイアログボックス<br>の各タブ共通 | お気に入りの [追加]   |
|                               | お気に入りの [編集]   |
|                               | [出力方法] で [セキュアプリント] を選択したときの [詳細] (このボタンが表示されていない場合はカスタマイズできません。このボタンが表示されている場合はカスタマイズできます。)  |
|                               | [出力方法] で [編集 + プレビュー] を選択したときの [ロックする]  |
|                               |  (NetSpot Job Monitor を表示する)<br> (プリンターステータスウィンドウを表示する) |
| 【ページ設定】 タブ                    | [スタンプ編集] ダイアログボックスの [新規追加] と [削除] ([スタンプ編集] ダイアログボックスは、[スタンプ] にチェックマークを付けたあと、[スタンプ編集] をクリックすると表示されます。)  |
|                               | [ユーザー設定用紙]  |
| 【印刷品質】 タブ                     | [色設定] (または [グレー設定]) ダイアログボックス内、[マッチング] タブにある [モニター・スキャナーの設定] のドロップダウンリスト ([色設定] (または [グレー設定]) ダイアログボックスは、[色の設定を行う] (または [グレーの設定を行う]) にチェックマークを付けたあと、[色設定] (または [グレー設定]) をクリックすると表示されます。)                                  |
| 【デバイスの設定】<br>タブ               | [部門別 ID 管理機能を使う] にチェックマークを付けた場合の [設定]   |
|                               | [ユーザー名を設定する] にチェックマークを付けた場合の [設定]   |
|                               | [フォント設定]  |
|                               | [デバイス情報取得]  |
|                               | [リソース情報取得]  |

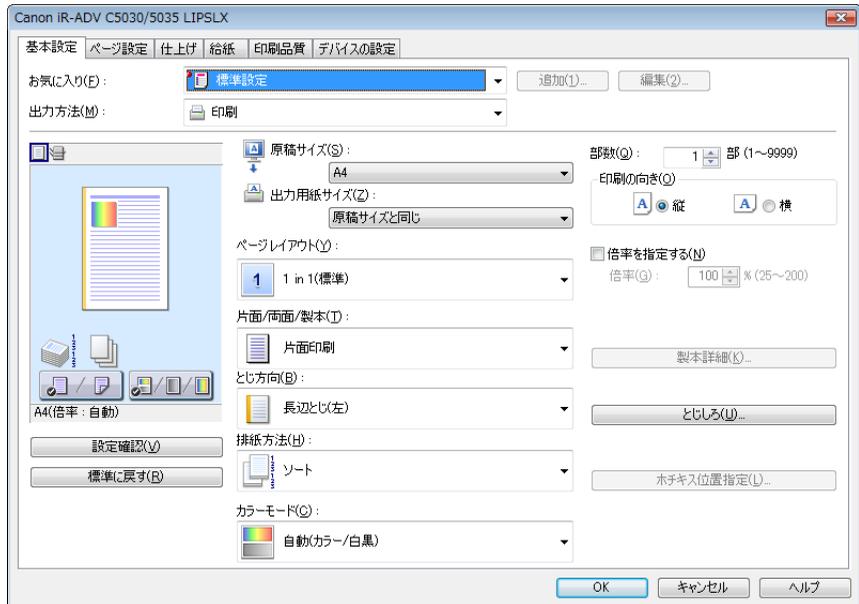
## 初期値をカスタマイズする

以下の手順に従って、初期値をカスタマイズします。

初期値をカスタマイズすると、カスタマイズされた設定を初期値とする、特別なお気に入り  
が作成されます。

### 1 Canon Driver Configuration Tool のメイン画面で [ドライバーの 設定] にチェックマークを付けたあと、[設定] をクリックします。

プリンタードライバーの画面が表示されます。



### 2 [デバイスの設定] タブで、各項目の初期値を設定します。

#### 重要

- 最初に [デバイスの設定] タブの初期値を設定してください。他のタブの初期値を変更したあとで [デバイスの設定] タブの初期値を変更すると、[デバイスの設定] タブの設定内容に応じて他のタブの初期値が変更され、意図しない設定内容になることがあります。
- Canon GLX Printer Driver をお使いの場合、[デバイスの種類] を変更後、[OK] ボタンを押し、プリンタードライバー画面を一度閉じてください。その他の変更が無い場合であっても、[設定] ボタンを押してプリンタードライバー画面を、再度開いてください。その後、設定の変更や確認を行った後、[OK] ボタンを押しプリンタードライバー画面を閉じてください。

#### メモ

- 設定方法は、通常のドライバーの設定を変更する場合と同様です。
- 各項目の詳細については、各タブのヘルプを参照してください。(→オンラインヘルプを表示する：P.1-9)

2

カスタマイズドライバーセットを作成する

### 3 [基本設定] / [ページ設定] / [仕上げ] / [給紙] / [印刷品質] タブで、項目の初期値を設定します。

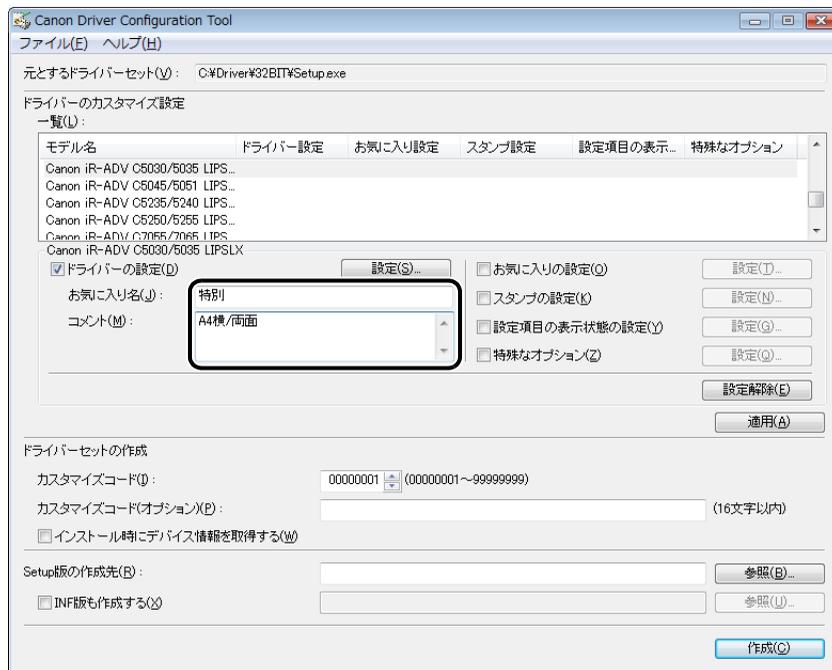


- 設定方法は、通常のドライバーの設定を変更する場合と同様です。
- 各項目の詳細については、各タブのヘルプを参照してください。(→オンラインヘルプを表示する：P.1-9)
- [基本設定] タブは、ドライバーの設定項目のうち、他のタブの基本的な設定をまとめたタブです。[基本設定] タブでのカスタマイズと、他のタブでのカスタマイズは連動しており、いずれか一方でのカスタマイズが自動的にもう一方に反映されます。

### 4 すべてのタブの設定が終了したら、[OK] をクリックします。

メイン画面に戻ります。

### 5 [お気に入り名] と、[コメント] を入力します。

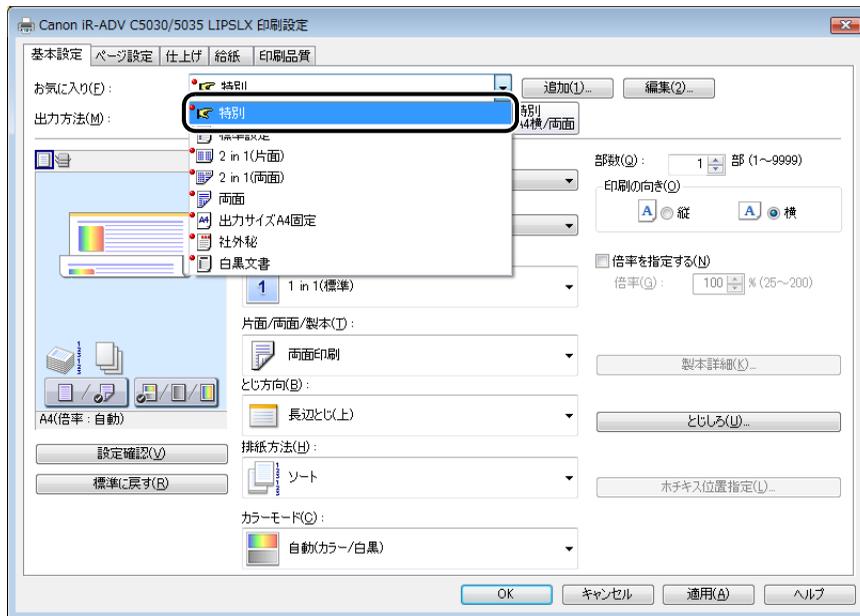


ここで設定した [お気に入り名] が、特別なお気に入りの名称になります。



メモ

- ここで作成された特別なお気に入りには、[お気に入りの追加/編集] ダイアログボックスで編集/削除を行うことはできません。
- 初期値がカスタマイズされたドライバーをインストールすると、以下のように、ここで設定された「お気に入り名」が  (特別なお気に入り) で示され、[お気に入り] リストの一番上に表示されます。



- お使いのドライバーによっては、特別なお気に入りを作成しないようにしたり、表示順を変更したりすることができます。

---

続いてお気に入りの設定を行います。

---

2

カスタマイズドライバーセットを作成する

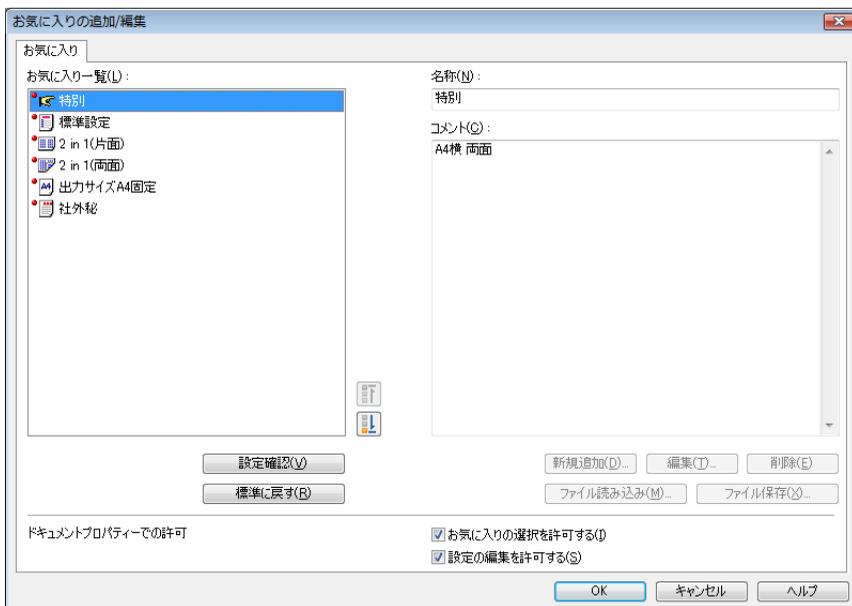
## お気に入りを設定する

以下の手順に従って、お気に入りをカスタマイズします。お気に入りをカスタマイズしない場合は、「項目／選択肢／ボタンの表示状態を設定する」(→P.2-15)に進んでください。

- **重要** ● [お気に入りの追加／編集] ダイアログボックスから、スタンプのカスタマイズを行うことはできません。(→スタンプを設定する：P.2-6)
-  (特別なお気に入り) が表示されているお気に入りは、ドライバーの初期値をカスタマイズした場合(メイン画面で [ドライバーの設定] にチェックマークを付けた場合)に作成されるものです。 (特別なお気に入り) を表示させない場合は、[特殊なオプション] - [ドライバーの設定をお気に入りとして追加] を [しない] に設定します。
- [お気に入りの追加／編集] ダイアログボックスで変更した設定内容は、本ユーティリティ上でカスタマイズ中に表示される [ページ設定] / [仕上げ] / [給紙] / [印刷品質] タブの表示には反映されません。これらのタブでは、常に標準の状態が表示されます。これらのタブでの表示状態は、作成したカスタマイズードライバーを実際にインストールして確認してください。(→カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする：P.3-1)

### 1 Canon Driver Configuration Tool のメイン画面で [お気に入りの設定] にチェックマークを付けたあと、[設定] をクリックします。

[お気に入りの追加／編集] ダイアログボックスが表示されます。



- **メモ** ●  (上へ) /  (下へ) と [標準に戻す] は、本ユーティリティでカスタマイズを行うときにのみ表示されます。

## 2 各項目を設定します。

### ● 新しいお気に入りを作成する場合

- [お気に入り一覧] から元にするお気に入りを選択したあと、[新規追加] をクリックします。

元にするお気に入りの設定値の状態、編集用のダイアログボックスが開きます。

- 必要に応じて、設定値を変更します。

### ● お気に入りの順番を変更する場合

- [お気に入り一覧] で順番を変更する項目を選択したあと、 (上へ) または  (下へ) をクリックして、目的の位置に移動します。

### ● お気に入りを削除する場合

- [お気に入り一覧] で削除するお気に入りを選択したあと、[削除] をクリックします。

選択したお気に入りの削除されます。

### 重要

- [標準に戻す] をクリックすると、編集中のお気に入りだけでなく、[お気に入り一覧] に表示されているすべてのお気に入りの標準の設定値に戻ります。また、お気に入りの表示順も標準の状態に戻ります。
- お気に入りは、少なくとも一つ定義されている必要があります。最後の1つを削除することはできません。最後に残ったお気に入りの不要で、新たに別のお気に入りを作成するときは、先に必要なお気に入りを追加すると、残っていた不要なお気に入りを削除することができます。

### メモ

- 設定方法は、通常のドライバーでお気に入りを設定する場合と同様です。
- 標準で用意されているお気に入りをカスタマイズすることもできます。
- [標準設定] というお気に入りには、カスタマイズの元としたドライバーセットの標準の設定値が登録されています。「初期値をカスタマイズする」(→ P.2-10) の手順1~5に従って変更した内容は、[標準設定] に反映されるのではなく、 (特別なお気に入り) に反映されます。
- ここで追加または編集したお気入りは、標準で用意されているお気に入り(名称の左上に赤い丸がついたお気に入り)として表示されます。
- 各項目の詳細については、[お気に入りの追加/編集] ダイアログボックスのヘルプを参照してください。(→オンラインヘルプを表示する:P.1-9)

## 3 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

メイン画面に戻ります。

---

続いて項目/選択肢/ボタンの表示状態の設定を行います。

---

## 項目／選択肢／ボタンの表示状態を設定する

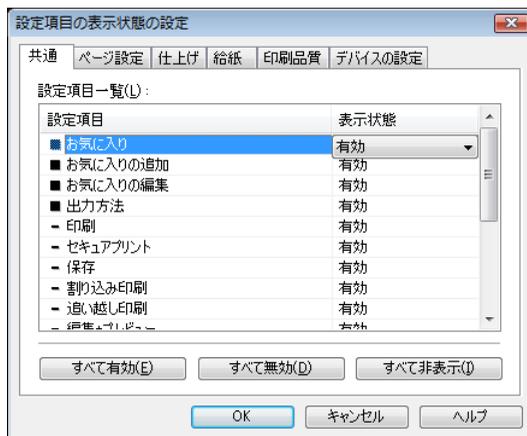
以下の手順に従って、項目／選択肢／ボタンの表示状態をカスタマイズします。  
以下のタブに含まれる項目／選択肢／ボタンの表示状態を設定することができます。

- [ページ設定] タブ
- [仕上げ] タブ
- [給紙] タブ
- [印刷品質] タブ
- [デバイスの設定] タブ

-  **メモ**
- Canon CAPT Printer Driver は、項目／選択肢／ボタンの表示状態をカスタマイズすることはできません。
  - [基本設定] タブについては、上記タブでのカスタマイズが自動的に反映されます。

### 1 Canon Driver Configuration Tool のメイン画面で [設定項目の表示状態の設定] にチェックマークを付けたあと、[設定] をクリックします。

[設定項目の表示状態の設定] ダイアログボックスが表示されます。



## 2 タブごとに項目やボタンの表示状態を設定します。

各設定項目の表示状態は、以下の3通りの状態に設定することができます。

|       |   |
|-------|---|
| [有効]  | 標準の状態です。ユーザーは [有効] に設定されている項目や選択肢を自由に選択することができます。また、[有効] に設定されているボタンを使用することもできます。<br>すべての項目を [有効] に設定するには、[すべて有効] をクリックします。                           |
| [無効]  | ユーザーは [無効] に設定されている項目や選択肢については、初期値以外を選択することができません。また、[無効] に設定されているボタンを使用することはできません。[無効] に設定した項目はグレーアウトされます。<br>すべての項目を [無効] に設定するには、[すべて無効] をクリックします。 |
| [非表示] | [非表示] に設定されている項目やボタンは表示されません。ユーザーに項目やボタンを見せたくない場合は、これを選択します。<br>すべての項目を [非表示] に設定するには、[すべて非表示] をクリックします。  |

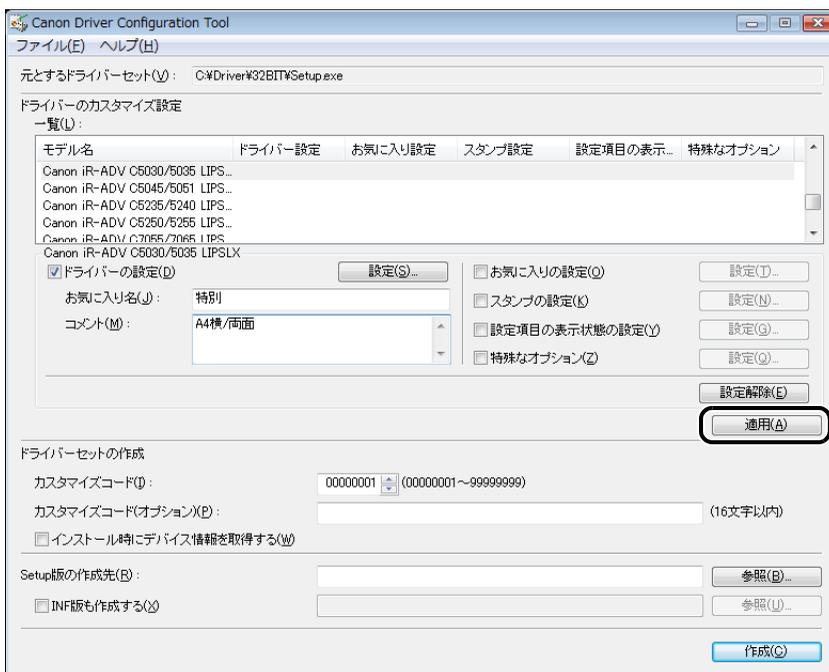
- 重要**
- [設定項目の表示状態の設定] ダイアログボックスで変更した設定内容は、本ユーティリティ上でカスタマイズ中に表示される [基本設定] / [ページ設定] / [仕上げ] / [給紙] / [印刷品質] / [デバイスの設定] タブの表示には反映されません。これらのタブでは、常に標準の状態が表示されます。  
これらのタブでの表示状態は、作成したカスタマイズドライバーを実際にインストールして確認してください。(→カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする：P.3-1)
  - ヘルプの内容をカスタマイズすることはできません。カスタマイズされたドライバーの [ヘルプ] をクリックして表示される内容は、標準のドライバー用のヘルプと同じです。[無効] や [非表示] に設定された項目の説明を隠すことはできません。
  - [設定項目の表示状態の設定] ダイアログボックスには、プリンターの種類に関わらず、本ユーティリティで表示状態を変更できる項目/選択肢/ボタンがすべて表示されます。カスタマイズ対象のプリンターが対応していない項目/選択肢/ボタンについては、表示状態が [有効] であっても、実際に画面上に表示されることはありません。
- メモ**
- [共通] タブでは、すべてのタブに表示される共通の項目を設定することができます。
  -  が表示されている項目は、その上にある  の項目に関連する項目です。 の項目の表示状態を [無効] や [非表示] に設定すると、その下にある  の項目は  と同じ表示状態になります。例えば、[共通] タブの [出力方法] を [無効] に設定すると、その下にある [印刷] や [セキュアプリント] などの  の項目の表示状態が [有効] に設定されていても、実際にインストールされたカスタマイズドライバーでは、 の項目の表示状態は [無効] になります。
  - アイコンを伴う項目に対して [無効] や [非表示] の設定を行ったカスタマイズドライバーをインストールした場合、ドライバーによっては、アイコンだけが有効な状態で表示されることがあります。

## 3 すべてのタブの設定が終了したら、[OK] をクリックします。

メイン画面に戻ります。

## 設定内容を確定する

### 1 カスタマイズ作業が終了したら、[適用] をクリックします。



カスタマイズした内容を標準の状態に戻したいときは、[設定解除] をクリックしたあと、[適用] をクリックします。

#### **重要**

- 設定内容は、[適用] をクリックしたときに反映されます。（[設定解除] をクリックした場合も、[適用] をクリックしないと、設定内容は標準の状態に戻りません。）
- [設定解除] で標準の状態に戻るのは、カスタマイズ中の機種（[一覧] で選択中の機種）の設定値のみです。複数機種のカスタマイズを行っている場合、すでに適用された機種の設定内容は標準の状態に戻りません。

## 2

### カスタマイズドライバーセットを作成する

# カスタマイズドライバーセットを作成する

ドライバーのカスタマイズ作業が終わったら、以下の手順でカスタマイズドライバーセットを作成します。

2

カスタマイズドライバーセットを作成する

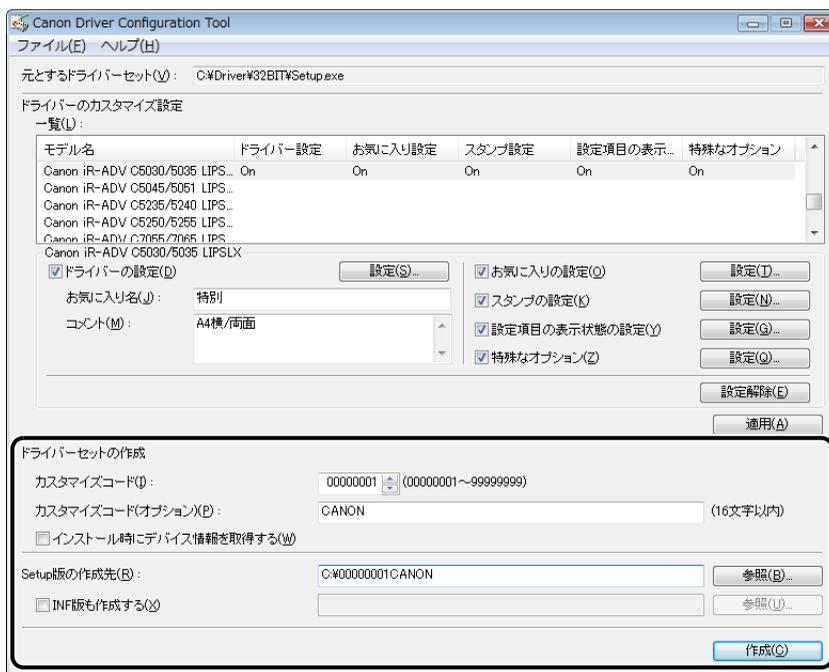
## 1 カスタマイズされたドライバーを識別するための情報を設定します。

- [カスタマイズコード] を設定します。

[カスタマイズコード] は、必ず設定してください。

- [カスタマイズコード (オプション)] を設定します。

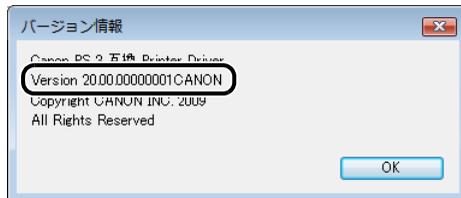
[カスタマイズコード (オプション)] には、文字列を入力することができます。文字列による識別情報が必要な場合に設定してください。



**重要** [カスタマイズコード] と [カスタマイズコード (オプション)] は、カスタマイズされたドライバーを識別するためのものです。他のカスタマイズドライバーセットと重複しないように注意してください。



ここで設定した [カスタマイズコード] と [カスタマイズコード (オプション)] は、カスタマイズされたドライバーの [バージョン情報] ダイアログボックスで、以下のように表示されます。( [カスタマイズコード] を「00000001」、[カスタマイズコード (オプション)] を「CANON」とした例)



## 2 インストール時にデバイス情報を取得するかどうかを選択します。

カスタマイズドライバーをインストールするときにデバイス情報を取得する場合は、[インストール時にデバイス情報を取得する] にチェックマークを付けます。



- 本項目にチェックマークを付けると、カスタマイズドライバーをインストールする際に、デバイスの情報を取得したあと、取得した情報に応じた値が自動的に設定されます。取得されるデバイスの情報は、オプション装着の有無や、メモリーの搭載量などです。
- インストール時に取得したデバイスの情報が本ユーティリティーで設定した [デバイスの設定] タブの初期値と異なる場合は、実際にインストールされたドライバーの初期値が本ユーティリティーで設定した初期値と異なることがあります。
- この設定は、ドライバーセットに含まれるすべての機種に共通です。機種ごとに設定することはできません。

## 3 ドライバーセットの作成先を指定します。

[Setup 版の作成先] / [INF 版の作成先] に作成するドライバーセットを保存するフォルダーへのパスを入力します。フォルダーへのパスは、[参照] をクリックして入力することもできます。



- カスタマイズの元にしたドライバーセットと同じフォルダーに保存することはできません。
- Setup 版のドライバーセットをカスタマイズの元にした場合は、INF 版のドライバーセットで作成することもできます。[INF 版も作成する] にチェックマークを付け、[参照] をクリックして、ドライバーセットの作成先を指定します。ただし、Canon Universal LIPS4 Printer Driver の INF 版のカスタマイズドライバーセットは、作成できません。

## 4 設定内容を確認したあと、[作成] をクリックします。

指定した場所に、カスタマイズドライバーセットが作成されます。

続いて、作成したドライバーセットを実際にインストールして、設定内容を確認してください。(→カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする：P.3-1)

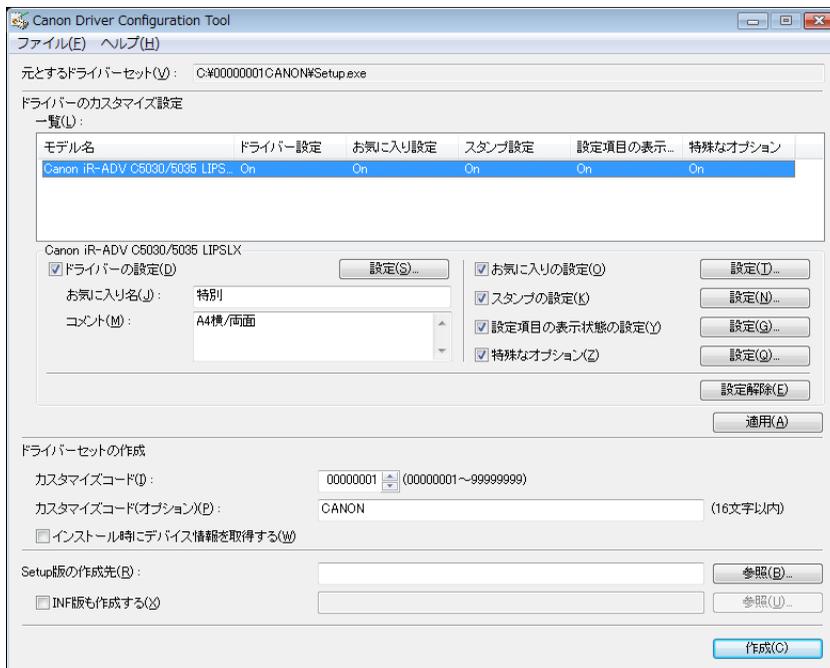
# ドライバーの再カスタマイズを行う

一度カスタマイズしたドライバーを再度カスタマイズすることができます。

ドライバーのカスタマイズ手順については、「ドライバーの設定をカスタマイズする」(→ P.2-5)を参照してください。

2

カスタマイズドライバーセットを作成する



- [モデル名] には、カスタマイズしたモデルのみ表示されます。
- 設定済みの項目は一覧で [On] と表示されます。

**メモ** 再カスタマイズを行う場合は、ファイル構成など、前回カスタマイズ時と同じコンピューターの環境で行ってください。

# カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする

# 3

## CHAPTER

この章では、カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする方法を説明しています。

---

|   |     |
|---|-----|
| インストールの準備をする .....                        | 3-2 |
| 共存できないドライバーを削除する .....                    | 3-3 |
| カスタマイズドライバーをインストールする .....                | 3-6 |
| Setup 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする ..... | 3-6 |
| INF 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする .....   | 3-8 |

# インストールの準備をする

最初に、以下の説明を参考にして、カスタマイズドライバーを他のドライバーと共存させるか、単独で使用するかを決めます。

## ■ 複数のドライバーをインストールする

キヤノン製の標準ドライバーと同様に、1台のコンピュータに、同一機種用の異なる種類のドライバーや、異なる機種用の同じ種類のドライバーを共存させることができます。また、以下の条件を満たす場合は、1台のコンピュータに、同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させることができます。例えば、LIPS LX ドライバーを使用する場合、カスタマイズ内容の異なるドライバーセットを2つ作成し、両方をインストールして、1台のプリンターを異なる設定で使い分けることができます。また、一方が標準ドライバー、一方がカスタマイズドライバー、といった使い方をすることもできます。3つ以上を共存させることもできます。同一機種が複数ある場合、各プリンター用のカスタマイズドライバーを作成し、これらを1台のコンピュータで共存させることもできます。「同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させる場合」(→P.3-3)の手順に従って、インストールの準備を行ってください。

- 条件1：インストールするドライバーのバージョンがすべて同じである。  
例えば、LIPS LX Version 2.50の標準ドライバーと共存できるのは、LIPS LX Version 2.50をベースにして作成したカスタマイズドライバーのみです。LIPS LX Version 2.50の標準ドライバーと Version 2.50 以外をベースにして作成したカスタマイズドライバーは共存できません。
- 条件2：以下の環境を使用していない。
  - ・ Windows Server 2008/Server 2003 の MSCS (Microsoft Cluster Services) 環境の共有スプラーサーサービス
  - ・ Windows Terminal Server (リモートデスクトップ接続を含む) と Citrix Presentation Server または MetaFrame Server の自動作成クライアントプリンター (Auto Created Client Printer)
  - ・ Novell NetWare の NDS (Novell Directory Service) プリンター、または NDPS (Novell Distributed Print Services) プリンター環境
  - ・ プリンターに SMB 接続する環境

## ■ 1つのドライバーをインストールする

「複数のドライバーをインストールする」の条件1、条件2を満たさない場合は、同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させることはできません。(同じ機種であっても、一方が LIPS LX で一方が PS といったように、ドライバーの種類が異なる場合は、両方のドライバーをインストールすることができます。)「同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合」(→P.3-4)の手順に従って、インストールの準備を行ってください。

## 共存できないドライバーを削除する

次の手順に従って、カスタマイズドライバーのインストール準備を行います。

 **メモ** ここでは、Windows Vista（32ビット版）の場合を例に説明しています。手順は、お使いのOSや環境によって異なることがあります。

### 同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させる場合

#### 1 インストールするカスタマイズドライバーと異なるバージョンの、同一機種用の同じ種類の標準ドライバーまたはカスタマイズドライバーがコンピューターにインストールされていたら、そのドライバーを削除します。

例えば、LIPS LX Version 2.50 のカスタマイズドライバーをインストールする場合、カスタマイズドライバーの対象機種と同じ機種用の LIPS LX Version 2.50 以外のドライバーがコンピューターにインストールされているときは、この LIPS LX ドライバーを削除します。カスタマイズドライバーの対象機種以外の LIPS LX ドライバーは削除する必要はありません。また、LIPS LX 以外のドライバーは、対象機種が同じでも削除する必要はありません。

#### ● インストーラーを使用してインストールしたドライバーの場合

- それぞれのドライバーのアンインストーラーを使用して、ドライバーを削除します。

詳しい手順は、それぞれのドライバーの説明書を参照してください。

#### ● インストーラーを使用せずにインストールしたドライバーの場合

- [プリンタ] フォルダーで削除する機種を選択し、削除します。
- [プリンタ] フォルダー内を右クリックして表示されるメニューから、[サーバーのプロパティ] を選択します。  
[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- [ドライバ] タブをクリックします。
- 削除するドライバーを選択して、[削除] をクリックします。
- [OK] をクリックします。

 **重要** カスタマイズされたドライバーをバージョンアップする場合は、新しいバージョンの標準のドライバーセットを元にカスタマイズドライバーセットを作成し、古いカスタマイズドライバーを削除してから、新しいカスタマイズドライバーをインストールしてください。

### 3

カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする

## 2 インストールするカスタマイズドライバーと同じバージョンの、同一機種用の同じ種類の標準ドライバーまたはカスタマイズドライバーがコンピューターにインストールされていたら、それらの更新日時を確認します。

複数のドライバーを共存させる場合は、更新日時が古いものから順にインストールする必要があります。複数のドライバーを共存させる場合は、更新日時を確認し、インストールされているドライバーの更新日時がインストールしたいカスタマイズドライバーの更新日時より後の場合は、インストールされているドライバーをいったん削除して、カスタマイズドライバーをインストールした後に、インストールしなおしてください。

### ● インストール済のドライバーの更新日時を確認する場合

- Windows のエクスプローラーの検索機能を使って、Windows のシステムが入っているフォルダーで「UPD」という拡張子のファイルを検索します。
- 目的の機種の名前がついているファイルの更新日時を確認します。

### ● 作成したカスタマイズドライバーの更新日時を確認する場合

- カスタマイズしたドライバーセットが保存されているフォルダーを開きます。
- 目的の機種の名前が付いている、「UP\_」または「UPD」という拡張子のついたファイルの更新日時を確認します。

## 同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合

### 1 インストールするカスタマイズドライバーと同一機種用の同じ種類のドライバーがコンピューターにインストールされている場合は、バージョンに関わらず、そのドライバーを削除します。

例えば、LIPS LX のカスタマイズドライバーをインストールする場合、カスタマイズの対象にした機種と同じ機種用の LIPS LX のドライバーがコンピューターにインストールされているときは、バージョンに関わらず、この機種用の LIPS LX ドライバーを削除します。カスタマイズドライバーの対象機種以外の LIPS LX ドライバーは削除する必要はありません。また、LIPS LX 以外のドライバーは、対象機種が同じでも削除する必要はありません。

### ● インストーラーを使用してインストールしたドライバーの場合

- それぞれのドライバーのアンインストーラーを使用して、ドライバーを削除します。

詳しい手順は、それぞれのドライバーの説明書を参照してください。

**● インストーラーを使用せずにインストールしたドライバーの場合**

- [プリンタ] フォルダーで削除する機種を選択し、削除します。
- [プリンタ] フォルダー内を右クリックして表示されるメニューから、[サーバーのプロパティ] を選択します。  
[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- [ドライバ] タブをクリックします。
- 削除するドライバーを選択して、[削除] をクリックします。
- [OK] をクリックします。

**👉 重要**

- カスタマイズされたドライバーをバージョンアップする場合は、新しいバージョンの標準のドライバーセットを元にカスタマイズドライバーセットを作成し、古いカスタマイズドライバーを削除してから、新しいカスタマイズドライバーをインストールしてください。
- カスタマイズドライバーを上書きインストールすると、ドライバーが正常に動作しないことがあります。

---

これでインストールの準備が完了しました。

---

# カスタマイズドライバーをインストールする

カスタマイズドライバーは、出力した形式によって、以下の方法でインストールすることができます。

## Setup 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする

Setup 版で出力したカスタマイズドライバーのインストール手順を説明します。

- 重要** カスタマイズドライバーのインストールでは、以下のことはできません。
- ・ USB 接続によるインストール
  - ・ 既存ドライバーの更新（カスタマイズドライバーの追加のみが可能です。）

### 1 コンピューター上の不要なドライバーを削除します。

インストールを始める前に、「インストールの準備をする」(→ P.3-2)、「共存できないドライバーを削除する」(→ P.3-3)を参照して、カスタマイズドライバーをインストールできる環境を整えてください。

### 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

### 3 画面の指示に従って、カスタマイズドライバーのインストールを行います。

手順は、標準のドライバーと同様です。詳細は各ドライバーの説明書を参照してください。

#### ● インストール中に、新しいバージョンのドライバーがすでにインストールされているという内容のメッセージが表示された場合

このメッセージは、インストール中のカスタマイズドライバーの対象機種と種類が既存のドライバーと同じで、既存ドライバーのバージョンの方が新しい場合に表示されます。

インストールを中止し、既存ドライバーのバージョン以降のドライバーを元にしたカスタマイズドライバーを作成して、インストールしてください。

- **インストール中に、新しいバージョンのドライバーに更新されるという内容のメッセージが表示された場合**

このメッセージは、インストール中のカスタマイズドライバーの対象機種と種類が既存のドライバーと同じで、既存ドライバーのバージョンの方が古い場合に表示されます。

[はい]： インストールが続行され、既存のドライバーはカスタマイズドライバーに置き換わります。(共存させることはできません)

[いいえ]： インストールが中止されます。

- **"Designed for Windows" ログを取得していない、または、署名がない、という内容のメッセージが表示された場合**

インストールを続行してください。

(キヤノン製の標準ドライバーは、上記ログまたはデジタル署名を取得しているため、このようなメッセージは表示されませんが、カスタマイズドライバーは標準ドライバーとは別のもので認識されるため、このようなメッセージが表示されることがあります。)

## INF 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする

INF 版で出力したカスタマイズドライバーは以下の 2 通りの方法でインストールできます。

- キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールする (→ P.3-8)
- Windows のプリンター追加機能を使ってインストールする (→ P.3-10)

### キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールする

まず最初に、カスタマイズドライバーのインストールセット (Setup 版) を作成し、次に、インストーラーを使ってカスタマイズドライバーのインストールを行います。

 **メモ** ここでは、Windows Vista/7 (32 ビット版) の場合を例に説明しています。手順は、お使いの OS や環境によって異なることがあります。

#### ■カスタマイズドライバーのインストールセット (Setup 版) を作成する

カスタマイズドライバーのインストールセット (Setup 版) の作成方法を説明します。

**1** カスタマイズ元となる、インストーラーを含んだ標準ドライバーのインストールセット (Setup 版) を任意の場所にコピーします。

**2** 標準のドライバー用の全ファイルを削除します。

- 手順 1 でコピーしたフォルダー内の、INF ファイルが入っているフォルダーに移動します。

LIPSLX Version 20.85 ドライバーの例 :

32 ビット版では「32BIT¥Driver」フォルダーに移動します。

64 ビット版では「x64¥Driver」フォルダーに移動します。

ドライバーのバージョンによっては、32 ビット版は「32BIT¥win2k\_vista」フォルダーになります。

- INF ファイルと同じ階層の全ファイルを削除します。フォルダーがある場合は、フォルダーもすべて削除します。

INF ファイルが入っていたフォルダーは残します。

LIPS LX Version 20.85 ドライバーの例：

32 ビット版では、「32BIT¥Driver」フォルダー内のファイルやフォルダーをすべて削除して、「32BIT¥Driver」フォルダーを残します。

64 ビット版では、「x64¥Driver」フォルダー内のファイルやフォルダーをすべて削除して、「x64¥Driver」フォルダーを残します。

ドライバーのバージョンによっては、32 ビット版は「32BIT¥win2k\_vista」フォルダーになります。

### 3 カスタマイズドライバー用の全ファイルを、手順 2 で移動したフォルダーにコピーします。

カスタマイズドライバー用の全ファイルとは、カスタマイズドライバー作成時に、本ユーティリティのメイン画面の [作成先] で指定したフォルダーの中にあるファイルです。

32 ビット用と 64 ビット用のカスタマイズドライバーを 1 つのインストーラーに含める場合は、それぞれについて、本手順の操作を行います。



重要

インストーラーに含めることができるのは、本ユーティリティの version 3.10 で作成したカスタマイズドライバーセットのみです。以前のバージョンで作成したカスタマイズドライバーセットを含めないでください。

### 4 不要なフォルダーを削除します。

32 ビット用のドライバーのみを含める場合は、「x64」フォルダーを削除します。64 ビット用のドライバーのみを含める場合は、「32BIT」フォルダーを削除します。

---

これで、カスタマイズドライバーのインストールセット (Setup 版) を作成できました。

---

## ■インストーラーを使ってカスタマイズドライバーをインストールする

「カスタマイズドライバーのインストールセット（Setup 版）を作成する」（→ P.3-8）で作成したインストーラーを使ってインストールします。

手順については「Setup 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする」（→ P.3-6）を参照してください。

## Windows のプリンター追加機能を使ってインストールする



メモ

ここでは、Windows Vista/7（32 ビット版）の場合を例に説明しています。手順は、お使いの OS や環境によって異なることがあります。インストール手順の詳細については、Windows の説明書を参照してください。

### 3

カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする

#### 1 コンピューター上の不要なドライバーを削除します。

インストールを始める前に、「インストールの準備をする」（→ P.3-2）、「共存できないドライバーを削除する」（→ P.3-3）を参照して、カスタマイズドライバーをインストールできる環境を整えてください。

#### 2 [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（または [コントロールパネル] - [プリンタ]）を選択します。

#### 3 [プリンターの追加]（または [プリンタのインストール]）をクリックします。

プリンターの追加ウィザードが表示されます。

#### 4 [次へ] をクリックします。

#### 5 画面の指示に従って操作します。

#### 6 プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されたら、[ディスク使用] をクリックします。

#### 7 本ユーティリティで作成したドライバーセットが保存されている場所を指定したあと、[OK] をクリックします。

## 8 リストから使用するプリンターを選択したあと、[次へ] をクリックします。

本ユーティリティでカスタマイズしたプリンターのみがリストアップされます。

**重要** [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[続行] をクリックします。

## 9 すでに同じ種類の同じ機種用のドライバーがインストールされているときは、現在のドライバーを使うか、新しいドライバーに置き換えるかを選択する画面が表示されます。同じ種類の同じ機種用のドライバーを共存させる場合は、新しいドライバーに置き換える方を選択して [次へ] をクリックします。

**重要** 同じ種類の同じ機種用のドライバーを共存させない場合は、インストールされているドライバーを削除する必要があります。インストール作業を中止して、「共存できないドライバーを削除する」(→P.3-3)の手順1からやりなおしてください。

## 10 画面の指示に従って操作します。

**重要** カスタマイズドライバーをインストールするときに、「Designed for Windows」ロゴを取得していない、または、署名がない、という内容の警告が表示されたときは、インストールを続行してください。  
(キヤノン製のプリンタードライバーは、上記ロゴまたはデジタル署名を取得しているもので、インストール時にこのような警告は表示されませんが、カスタマイズドライバーは標準のドライバーとは別のもので認識されるため、このような警告が表示されることがあります。)

---

これでローカルプリンターへのインストールが完了しました。

---

### 3

カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする

# カスタマイズドライバーをネットワークプリンター用にインストールする

# 4

## CHAPTER

この章では、カスタマイズドライバーをネットワークプリンター用にインストールする方法を説明しています。

---

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| インストールの準備をする .....           | 4-2 |
| 共存できないドライバーを削除する .....       | 4-2 |
| カスタマイズドライバーをインストールする .....   | 4-4 |
| プリントサーバーにインストールする .....      | 4-4 |
| クライアントコンピューターにインストールする ..... | 4-7 |

# インストールの準備をする

プリントサーバーを介してプリンターを共有している場合は、あらかじめ、システム管理者がクライアントコンピューターの OS に対応するカスタマイズドライバをプリントサーバーにインストールしておく、Windows の代替インストール機能 (Point and Print) を使って、プリントサーバーからクライアントコンピューターにカスタマイズドライバをインストールすることができます。

**重要** 64ビット版サーバーOS に32ビット版OS用の代替プリンタードライバをインストールする場合の注意事項については、「トラブルシューティング」(→ P.5-2) を参照してください。

## 4

カスタマイズドライバをネットワークプリンター用にインストールする

## 共存できないドライバを削除する

### プリントサーバー

プリントサーバーには、同一機種用の同じ種類のドライバを共存させることができます。例えば、1台のプリンター用の LIPS LX の標準ドライバとカスタマイズドライバをプリントサーバーにインストールして、1台のプリンターを標準ドライバとカスタマイズドライバで使い分けることができます。また、同一機種が複数ある場合に、各プリンター用のカスタマイズドライバをプリントサーバーにインストールして、各プリンターを異なる設定で使い分けることもできます。

#### ■ 同一機種用の同じ種類のドライバを共存させる場合

##### 1 共存できるドライバの条件を確認します。

ローカルプリンター用の「インストールの準備をする」(→ P.3-2) を参照して、共存できるドライバの条件を確認してください。

##### 2 ローカルプリンター用の「同一機種用の同じ種類のドライバを共存させる場合」(→ P.3-3) を参照して、必要な作業を行ってください。

**重要** 複数のドライバを共存させる場合は、更新日時が古いものから順にインストールする必要があります。順番が異なっていると、各ドライバが正常に動作しないことがあります。

## ■同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合

- 1 「同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合」(→ P.3-4)を参照して、カスタマイズドライバーと同一機種用の同じ種類のドライバーを、プリントサーバーから削除します。

 **メモ** 同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させたい場合は、ローカルプリンター用としてインストールしてください。詳細は、「カスタマイズドライバーをローカルプリンター用にインストールする」(→ P.3-1)を参照してください。

## クライアントコンピューター

クライアントコンピューターも、同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させることができます。

## ■同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させる場合

- 1 共存できるドライバーの条件を確認します。

ローカルプリンター用の「インストールの準備をする」(→ P.3-2)を参照して、共存できるドライバーの条件を確認してください。

- 2 ローカルプリンター用の「同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させる場合」(→ P.3-3)を参照して、必要な作業を行ってください。

 **重要** 複数のドライバーを共存させる場合は、更新日時が古いものから順にインストールする必要があります。順番が異なっていると、各ドライバーが正常に動作しないことがあります。

## ■同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合

- 1 ローカルプリンター用の「同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合」(→ P.3-4)を参照して、必要な作業を行ってください。

# カスタマイズドライバーをインストールする

 **メモ** ここでは、Windows Vista/7（32ビット版）の場合を例に説明しています。手順は、お使いの OS や環境によって異なることがあります。

## プリントサーバーにインストールする

カスタマイズドライバーは、以下の2通りの方法でインストールすることができます。

- キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールする（→ P.4-4）  
インストーラーを含んだドライバーのインストールセット（Setup 版）から作成したカスタマイズドライバーは、この方法でインストールします。
- Windows のプリンターの追加機能を使ってインストールする（→ P.4-6）  
INF 版から作成したカスタマイズドライバーは、この方法でインストールします。

 **重要** INF 版から作成したカスタマイズドライバーを、キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールすることはできません。

## キヤノン製の標準ドライバーのインストーラーを使ってインストールする場合

 **重要** インストーラーを使って代替ドライバーをインストールする場合は以下のことにご注意ください。

- ・インストーラーに含めることができるのは、本ユーティリティの version 3.10 以降で作成した Window 用の 32 ビット版と 64 ビット版のカスタマイズドライバーセットのみです。従って、インストーラーを使ってインストールできる代替ドライバーは、プリントサーバーが 32 ビット版の場合の 64 ビット版ドライバーと、プリントサーバーが 64 ビット版の場合の 32 ビット版ドライバーのみです。

### 1 プリントサーバー上の不要なドライバーを削除します。

インストールを始める前に、「インストールの準備をする」（→ P.4-2）を参照して、カスタマイズドライバーをインストールできる環境を整えてください。

## 2 カスタマイズドライバーのインストールセット (Setup 版) を作成します。

ローカルプリンター用の手順と同様です。手順は「カスタマイズドライバーのインストールセット (Setup 版) を作成する」(→ P.3-8) を参照してください。

## 3 インストーラーを起動します。

### ● 32 ビット版の場合

「32BIT」フォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

### ● 64 ビット版の場合

「x64」フォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

## 4 インストール中に表示される [プリンター情報の設定] 画面で、[プリンターを共有する] にチェックマークを付けて、[共有名] に共有するプリンター名を入力します。

## 5 クライアントコンピューターの OS に対応したカスタマイズドライバー (代替ドライバー) を追加する場合は、さらに以下の操作を行います。

[追加ドライバ] をクリックします。

クライアントコンピューターの OS のリストから対象となる項目を選択して、[OK] をクリックします。

**メモ**

プリントサーバーに複数のカスタマイズドライバーをインストールして使用することができますが、代替ドライバーとして使用できるのは、1 機種につき 1 つのカスタマイズドライバーだけです。

## 6 画面の指示に従って、カスタマイズドライバーのインストールを行います。

## 7 スプーラーを再起動します。

以下のいずれかの方法で、プリントサーバーのスプーラーを再起動します。

- Windows を再起動する。
- サービスからスプーラーを再起動する。手順は次のとおりです。  
[スタート] メニューから、[コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス] を選択します。次に、[Print Spooler] を右クリックして、[再起動] を選択します。
- コマンドラインからスプーラーを再起動する。手順は次のとおりです。  
コマンドプロンプトで以下のように入力します。  
> net stop spooler  
> net start spooler

---

これでプリントサーバーへのインストールが完了しました。

---

## 4

### Windows のプリンターの追加機能を使ってインストールする場合

#### 1 プリントサーバー上の不要なドライバーを削除します。

インストールを始める前に、「インストールの準備をする」(→ P.4-2) を参照して、カスタマイズドライバーをインストールできる環境を整えてください。

#### 2 プリントサーバー用のカスタマイズドライバーをインストールします。

手順はローカルプリンター用の手順と同様です。「Windows のプリンター追加機能を使ってインストールする」(→ P.3-10) を参照して、ドライバーをインストールしてください。

#### 3 プリントサーバーの [プリンタ] ウィンドウで、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[共有] を選択します。

#### 4 [共有] タブで [このプリンタを共有する] を選択し、共有名を入力します。

#### 5 クライアントコンピューターの OS に対応したカスタマイズドライバー (代替ドライバー) を追加する場合は、さらに以下の操作を行います。

- [追加ドライバ] をクリックします。
- [追加ドライバ] ダイアログ ボックスで、対象となる項目にチェックマークを付けて、[OK] をクリックします。
- クライアントコンピューター用のカスタマイズドライバーが保存されているフォルダーへのパスを指定して、[OK] をクリックします。

ドライバーのインストールが開始されます。



メモ プリントサーバーに複数のカスタマイズドライバーをインストールして使用することができますが、代替ドライバーとして使用できるのは、1機種につき1つのカスタマイズドライバーだけです。

## 6 インストールが完了したら、プロパティダイアログボックスを閉じます。

## 7 スプーラーを再起動します。

以下のいずれかの方法で、プリントサーバーのスプーラーを再起動します。

- Windows を再起動する。
- サービスからスプーラーを再起動する。手順は次のとおりです。  
[スタート]メニューから、[コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス] を選択します。次に、[Print Spooler] を右クリックして、[再起動] を選択します。
- コマンドラインからスプーラーを再起動する。手順は次のとおりです。  
コマンドプロンプトで以下のように入力します。  
    > net stop spooler  
    > net start spooler

---

これでプリントサーバーへのインストールが完了しました。

---

## クライアントコンピューターにインストールする

### 1 クライアントコンピューター上の不要なドライバーを削除します。

インストールを始める前に、必ず「共存できないドライバーを削除する」(→ P.4-2) に従って不要なドライバーを削除しておいてください。

### 2 エクスプローラーなどを使って、プリントサーバー上のプリンターを表示します。

### 3 インストールするプリンターのアイコンをダブルクリックします。

プリンターの設定を行うかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。

### 4 [OK] をクリックします。

OSによっては、さらにウィザードが表示されます。ウィザードが表示されたら、画面の指示に従って操作します。

**メモ**

- 上記の他に、[プリンタの追加ウィザード] を使ってネットワークプリンターを指定する方法もあります。詳細は、Windows の説明書を参照してください。
- プリントサーバーのOSが32bit版で、クライアントコンピューターのOSが64bit版、またはその逆の場合では、クライアントコンピューターで使用できるドライバーはプリントサーバーに代替ドライバーとして登録した1つのドライバーだけです。
- 代替ドライバーを使用する場合は、プリントサーバーにインストールするドライバーと代替ドライバーのカスタマイズの内容は、同等にしてください。

---

これでクライアントコンピューターへのインストールが完了しました。

---

**4**

カスタマイズドライバーをネットワークプリンター用にインストールする

# 付録

# 5

## CHAPTER

トラブルシューティングと索引を記載しています。

---

|                   |     |
|-------------------|-----|
| トラブルシューティング ..... | 5-2 |
| 索引 .....          | 5-5 |

# トラブルシューティング

本ユーティリティの操作中にトラブルが生じた場合の対処方法について説明します。

**本ユーティリティが対応しているドライバーであるにもかかわらず、以下のエラーメッセージが表示される。**

**「指定したセットアップ情報 (INF) ファイルがサポートしているドライバーセットは、Canon Driver Configuration Tool に対応していません。正しいファイルを指定してください。」**

**原因** カスタマイズ元のドライバーセットが複数の INF ファイルを含んでいる場合に、目的の INF ファイルが選択されていない。

**処置** ドライバーの種類によっては、ドライバーセット内に複数の INF ファイルを含んでいることがあります。このようなドライバーの場合は、カスタマイズドライバーの元にするドライバーセットを指定するダイアログボックスで、[ドライバーセットの指定方法] から [INF ファイル] を選択し、[元とするドライバーセット] のテキストボックスに目的の INF ファイルのフルパスを入力してください。

## 64 ビット版 OS に INF 版カスタマイズドライバーをインストールできない。

**原因** 64 ビット版 Windows 8/8.1/10 および Windows Server 2012 R2 では、OS の制限により INF 版のカスタマイズドライバーをインストールできない。

**処置** Setup 版のカスタマイズドライバーを作成し、インストールしてください。手順は、「カスタマイズドライバーセットを作成する」(→ P.2-18) および「Setup 版で出力したカスタマイズドライバーを使ってインストールする」(→ P.3-6) を参照してください。

## 64 ビット版 OS に 32 ビット版 OS 用の代替プリンタードライバーをインストールできない。

**原因** 64 ビット版 Windows 8/8.1/10 および Windows Server 2012 R2 では、OS の制限により INF 版のカスタマイズドライバーをインストールできないため、64 ビット版 OS 用のドライバーをインストールしたあと、[デバイスとプリンター] から 32 ビット版 OS 用のドライバーを追加できない。

**処置** 本ユーティリティでカスタマイズしたドライバーを代替プリンタードライバーとして使用する場合は、既存のプリンタードライバーを削除し、以下の手順に従って、ドライバーのカスタマイズとインストールを行ってください。

## ■ドライバーをカスタマイズする

- 1 本ユーティリティをインストールした OS に、使用したいプリンタードライバーのインストールセット（Setup 版）を用意します。
- 2 本ユーティリティを起動します。
- 3 カスタマイズするドライバーセットを指定する画面で、[ドライバーセットの指定方法] から [[32BIT] と [x64] フォルダーを含むフォルダー] を選択します。
- 4 [元とするドライバーセット] の [参照] をクリックして、手順1で用意したインストールセットの「[32BIT] と [x64] フォルダーを含むフォルダー」を指定したあと、[OK] をクリックします。
- 5 メイン画面でドライバーをカスタマイズします。詳細は「ドライバーの設定をカスタマイズする」(→ P.2-5) を参照してください。
- 6 OS 上の任意の場所に「Installer」というフォルダーを新規に作成します。



**重要**

ここで作成するフォルダー名は必ず半角英数字で「Installer」と入力してください。カスタマイズしたドライバーのインストール時に自動判別されるため、異なるフォルダー名では正しくインストールできません。

- 7 手順6で作成した「Installer」フォルダーを [Setup 版の作成先] に指定して、カスタマイズドライバーセットを作成します。詳細は「カスタマイズドライバーセットを作成する」(→ P.2-18) を参照してください。

## ■64 ビット版 OS で代替プリンタードライバーをインストールする

- 1 [Installer] フォルダーから [x64] - [Setup.exe] をダブルクリックし、インストーラーを起動します。
- 2 インストール中に表示される [プリンター情報の設定] 画面で、[プリンターを共有する] にチェックマークを付け、[追加ドライバー] をクリックします。



- 3 [追加ドライバー] 画面で、代替プリンタードライバーとして追加するドライバー (32 ビット版) を選択したあと、[OK] をクリックします。
- 4 [次へ] をクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了させます。

# 索引

## 英数字

Canon Driver Configuration Tool の概要, 1-2  
Canon Driver Configuration Tool をアンインストールする, 1-11  
Canon Driver Configuration Tool をインストールする, 1-6  
Windows のプリンター追加機能を使ってインストールする, 3-10

## あ

印刷設定ダイアログボックス, 1-2, 2-8  
    印刷品質, 1-2, 2-8, 2-15  
    給紙, 1-2, 2-8, 2-15  
    仕上げ, 1-2, 2-8, 2-15  
    ページ設定, 1-2, 2-8, 2-9, 2-15  
インストール時にデバイスの情報を取得する, 2-19  
インストールの準備をする, 3-2, 4-2  
お気に入りの順番を変更する場合, 2-14  
お気に入りの設定, 2-13  
お気に入りを削除する場合, 2-14  
お気に入りを設定する, 2-13  
オンラインヘルプを表示する, 1-9

## か

カスタマイズコード, 2-18  
カスタマイズできる項目, 1-2  
カスタマイズドライバーセットを作成する, 2-18

カスタマイズドライバーをインストールする, 3-6, 4-4  
カスタマイズの準備を行う, 2-3  
共存できないドライバーを削除する, 3-3, 4-2  
クライアントコンピューターにインストールする, 4-7  
項目/選択肢/ボタンの表示状態を設定する, 2-15

## さ

作成先, 2-19  
初期値を設定する, 2-8  
スタンプを設定する, 2-6  
設定項目の表示状態の設定, 2-15  
設定内容を確定する, 2-17

## た

対応ドライバー, 1-3  
対象機種を選択する, 2-5  
デバイスの設定, 1-2, 2-8, 2-9  
同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させない場合, 3-4  
同一機種用の同じ種類のドライバーを共存させる場合, 3-3  
特別なお気に入り, 2-11, 2-12, 2-14  
ドライバーセット, 1-2, 2-4, 2-18  
ドライバーの再カスタマイズを行う, 2-20  
ドライバーの設定をカスタマイズする, 2-5

## は

必要な動作環境, 1-4

標準に戻す, 1-2, 2-6, 2-13

プリントサーバーにインストールする, 4-4

## ま

メイン画面以外の画面から参照する, 1-10

メイン画面から参照する, 1-9

## 5

### 付録



**Canon**